

令和5年3月3日

日本アマチュア無線連盟渡島檜山支部  
非常通信担当 佐藤 佑介

## 令和4年度渡島檜山支部非常通信伝達訓練の実施について

### 記

#### 1 日時

令和5年3月25日（土）午前10時から概ね1時間

#### 2 周波数

144MHz帯FMモードにおいて行う。

※ 昨年度は430MHz帯レピーターを使用して行ったが、非常時におけるレピーター局の生存性が保証されてないことから、本年度はシンプレックス運用によるものとする。

#### 3 目的

- (1) 非常通信伝達訓練を通じて、会員のアマチュア無線の社会貢献について、意識を高めていく。
- (2) 会員の、非常時における通信技術の向上を図る。
- (3) 非常伝達訓練を実施することにより、実際の非常時における通信が直面するであろう問題点の洗い出しを行う。

#### 4 想定する状況

令和5年3月25日午前4時過ぎ、道南地方の海底を震源とする地震が発生した。約5mの津波が函館市・北斗市の海岸を襲い、海岸に近い低地においては多くの被害に見舞われた。また、それ以外の部分においても一部建物が倒壊、道南一帯が停電となった。

ほどなく、携帯電話もほとんど通じない状況、固定電話も全滅に近い状況となっている。

被害にあった人々は、早朝より、函館市、北斗市、七飯町内などの避難場所に集まってきており、その当日の食料等は、備蓄で備えているものの、それぞれの市役所や役場は、通信が確保できないため、その実態をつかめておらず、物資の配分について進んでいない状況であることから、各市町当局はJARL渡島檜山支部に対して、災害時における協力を求めた。

これを受け、各種通信手段が回復されるまでの間、アマチュア無線を利用して、各避難場所等との連絡・情報収集のため、非常通信を行うこととなった。

## 5 訓練内容

### (1) 基地局

実態に即し、基地局については車両を利用、各移動局との通信を確保するために高所に配置し、車載のアンテナ・無線機器により交信を行う。

配置箇所については、道南四季の杜公園駐車場とします。

(公園事務所には駐車場の使用について了承済みです。)

### (2) 移動局

訓練に参加の移動局は自宅近くの公的機関(町内会館、学校付近、市や町の施設)に移動し、ハンディ機または車載機でオンエアする。移動が困難な場合は、自宅からの参加も可能である。

移動局から基地局への報告については、次の事項とする。

- ・ 了解度
- ・ 現在位置
- ・ 無線設備状況
- ・ 周囲、避難場所の様子等

## 6 その他参考事項

訓練の通信事項についてのメモとして、昨年と同様のものを掲載します。

昨年の訓練後の反省会、アンケートにおいても特に不具合の指摘がなかったことから、本年もそのまま使用し、スムーズに訓練情報が伝えられるよう、訓練に臨んでください。

項目	内容
相手の了解度	
現在位置	
ハンディ・車載の別	
アンテナ	
避難者数	男性 名、女性 名(うち子供 名)
怪我や支援の必要性	
物資の要望	